

11 - 4 エクアドルの地震

Ecuador Earthquake in 2016

国土地理院

Geospatial Information Authority of Japan

[エクアドルの地震 合成開口レーダー (SAR)]

第1図は、2016年4月17日にエクアドルで発生した Mw7.8 (USGS) の地震について、「だいち2号」(ALOS-2) PALSAR-2 データの干渉解析を行った結果である。

東南東上空からの広域観測モードでの干渉解析結果が得られた。

地殻変動は、震央の南約 40 km 付近を中心として 100 km 以上の広範囲に及び、最大で約 70 cm の衛星から遠ざかる向きの地殻変動が検出された。変動の特徴はメカニズム解と概ね整合的である。

2016 年 4 月 17 日エクアドルの地震に関する合成開口レーダー解析結果

2016 年 4 月 17 日 8:58 (日本時間) にエクアドルで発生した地震 (Mw7.8, 深さ 19.2km, USGS) について、だいち 2 号のデータの解析を行った。得られた結果は以下のとおりである。

1. 震央の南約 40km の地点を中心として、最大で約 70cm の衛星から遠ざかる向きの変動が検出された。
2. 変動の特徴はメカニズム解と概ね整合的である。
3. 100km 以上の広範囲で変動が発生したことがわかる。

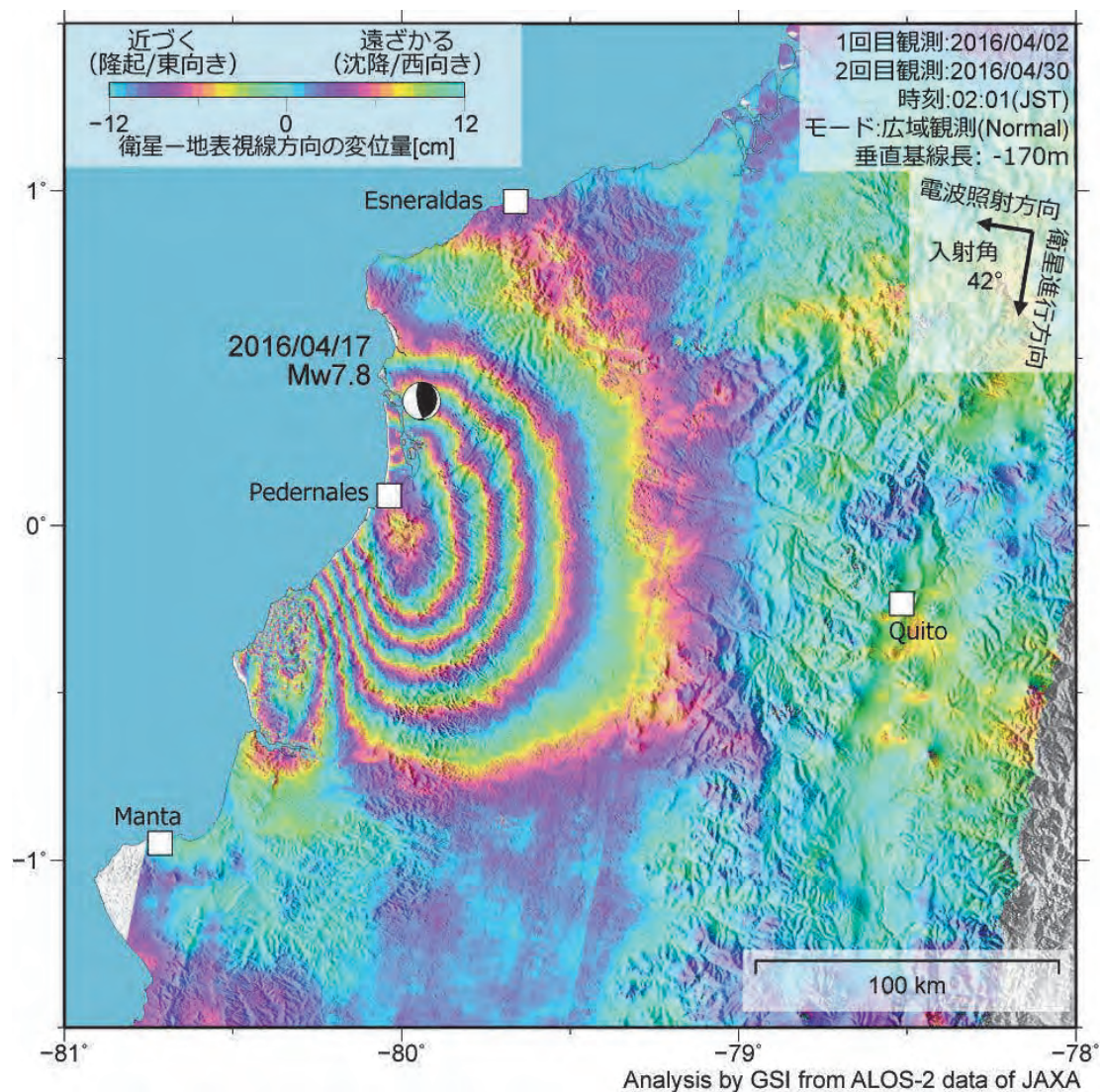


図. SAR 干渉解析結果

本成果は、地震予知連絡会 SAR 解析ワーキンググループの活動を通して得られたものである。

第 1 図 2016 年 4 月 17 日エクアドルの地震に関する合成開口レーダー解析結果

Fig. 1 Synthetic Aperture Radar (SAR) interferogram of Ecuador earthquake on April 17, 2016.